

## ◇高電圧・制御ユニット

### コムス点検整備時の注意

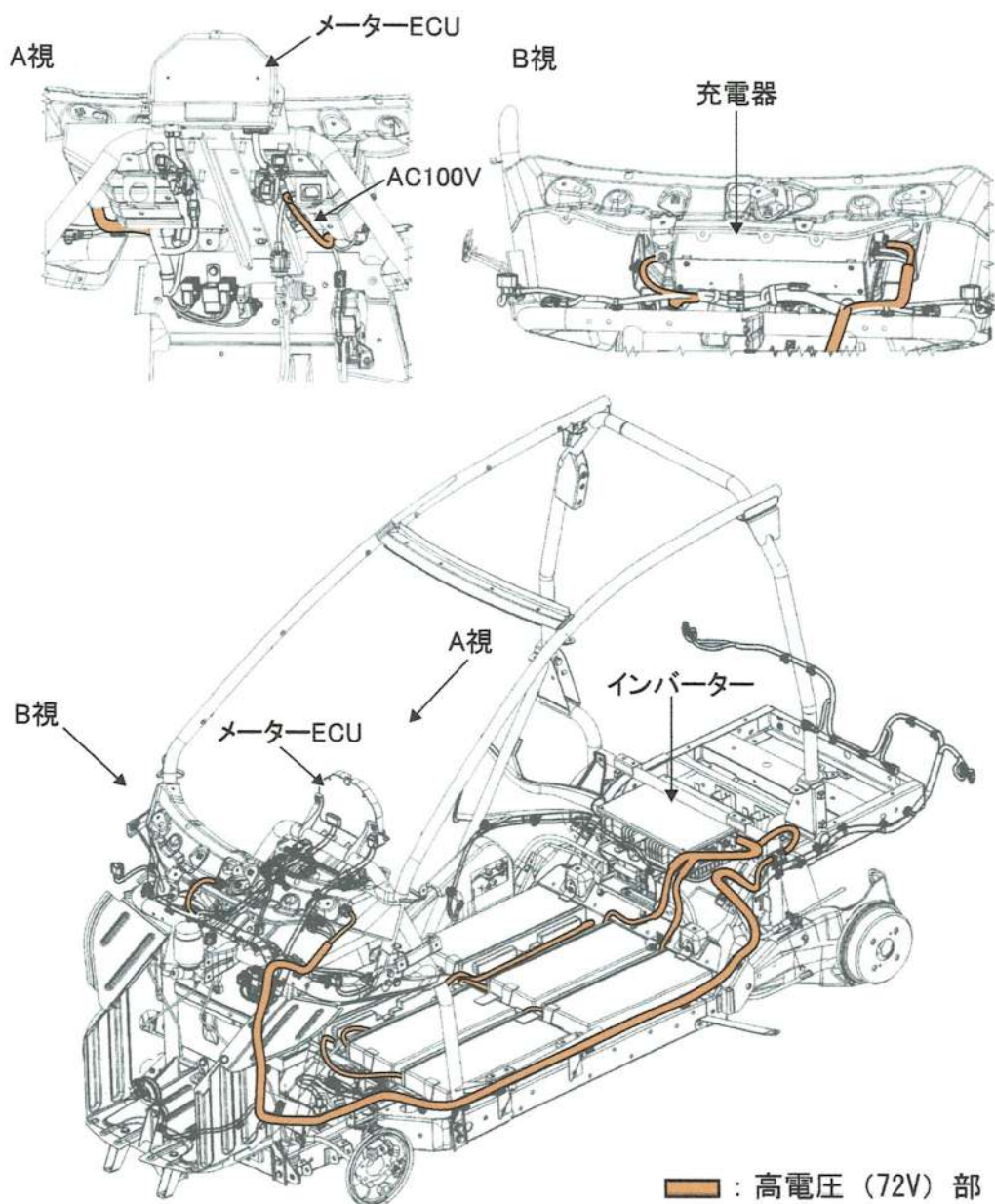
#### 注意

コムスは高電圧回路を有している。取り扱いを誤ると感電、漏電などの原因につながるので、本書の手順に従い正しい作業を行う。

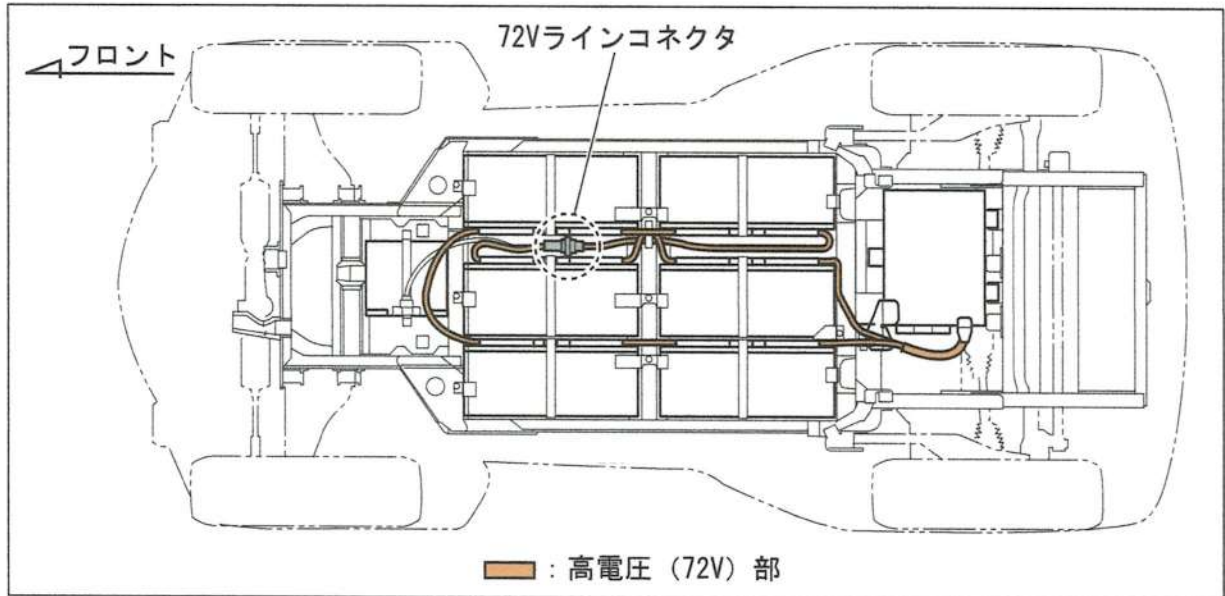
- (1) 高電圧回路に関わる点検・整備を行うエンジニアには労働安全衛生法 第59条ならびに労働安全衛生規則 第36条により特別教育の受講が義務付けられている。
- (2) 高電圧システムの点検・整備を行う場合は絶縁手袋の着用ならびに72Vラインコネクタの取りはずしなど、感電防止措置を確実に実施する。
- (3) 72Vラインコネクタを抜いてから高電圧のコネクターや端子に触れるまでに、1分間の時間を確保する。

**参考** インバーター ASSY 内の電解コンデンサーが放電するための時間である。

### 1. 概略図



## 2. 高電圧部（72V）の点検



- 1) 先に、72V ラインコネクタを切り離すこと。これにより、低圧になり安全が確保される。
- 2) 各バッテリーの接続部や、ケーブル等を点検する。

### 注意

駆動系の電源として、DC72V を使用しています。むやみに工具や素手で触れないこと。感電による大怪我、または生命に関わる重大な傷害を受ける恐れがあります。作業するときは、必ず絶縁工具を使用すること。

## 3. 各制御ユニット（充電器・メーター ECU・インバーター）の点検

充電器・メーター ECU、インバーターの各ユニットを次の要領で点検してください。その際、決してユニットを分解したりしないでください。

- 1) 制御ユニットに接続してあるコネクタの端子部を目視点検、接触圧の点検を行う。
- 2) 制御ユニットに接続してあるコネクタを外して、各アース端子とボデーアース間を点検する。

※制御ユニットの点検中に、コネクタを脱着する事によって端子の接触状態が変化して‘正常’となる場合があります。コネクタの点検結果で異常がなかった時は、コネクタを接続して不具合が再発するかを確認して、制御ユニットの良否を判断してください。

## 4. 次のことを守ってください。

- 1) 制御ユニットならびに各センサー類は精密部品ですから、脱着時に大きな衝撃を与えないでください。衝撃を与えた部品は極力使用しないでください。
- 2) 車両が雨等で濡れている時は、十分に乾燥させてから点検作業を行ってください。制御ユニットや、センサー等に水分が入り込むと誤作動したり、故障の原因になります。
- 3) 制御ユニットはカバーを開けたり、分解したりしないでください。